

## Ⅱ 社会参加・共生推進学習事業の概要

社会参加の機会が少ない市民を対象に、社会参加を促進するための支援学習を行った。外国人市民等（外国人市民や帰国した日本人市民）が日常生活に必要な日本語などを学ぶ識字学習活動、国語・数学などを中心に中学校課程の基礎的知識と教養を学ぶ社会人学級、障がいのある人の余暇活動と社会参加をめざす障がい者社会参加学習活動等の事業を各区の地域性を活かしながら実施した。



### 1 識字学習活動

識字学習活動は、外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につける場であり、支援する場である。1985(昭和60)年から中原市民館で実施していた社会人学級の日本語科(夜間)を国際識字年である1990(平成2)年に識字学級として独立させ、さらに午前の学級を新たに開設した。その後、1992(平成4)年に麻生市民館、1993(平成5)年に教育文化会館田島分館、幸市民館で順次開設し、1996(平成8)年からは全市民館で実施されるようになった。各館では識字・日本語ボランティアが学習のみならず日常生活を支援している姿が見られる。学習者は異文化理解への協力者として地域(学校)などで活躍し、識字・日本語学級の意義を地域で広めている。なお、識字・日本語ボランティア活動にあたる人々の活動の指針となるガイドライン『川崎市識字・日本語学習活動の指針』[2003(平成15)年3月]が市民参加により策定され、活動のよりどころとなっている。

### 2 識字ボランティア研修

『川崎市識字・日本語学習活動の指針』『川崎市外国人教育基本方針—多文化共生の社会をめざして—』に基づき、識字(日本語)学級の学習者と支援者(ボランティア)の学び合う関係づくり、ボランティアの資質の向上、共に生きる地域社会の創造をめざして実施した。2013(平成25)年度も分館を除く全館で、新しくボランティアになりたい人向けの入門研修とすでにボランティア活動を行っている人向けのブラッシュアップ研修の両者またはいずれかが行われた。2004(平成16)年3月に川崎市識字学級研究開発委員会によりワークショップ(参加体験型学習)等の研修の試案が提案され、2006(平成18)年度から、南・中・北部の各地域単位での実践がなされている。

### 3 社会人学級

中学校を卒業しているが、様々な事情で十分な学習ができなかった人を対象に、日常生活に必要な中学校課程の基礎的な知識、教養を学ぶ機会を提供するため、中原市民館で1982(昭和57)年に開設した。2002(平成14)年度から会場を教育文化会館に移して開設し、2013(平成25)年度も国語、数学、音楽、課外活動(特別講座)の学習を行った。

### 4 障がい者社会参加学習活動

障がい(主に知的障がい)のある青年を対象に、社会参加に必要な知識・技能の向上を図り、地域の中で交流を深めることをめざして、1966(昭和41)年に産業文化会館(現教育文化会館)で初めて開設した。1998(平成10)年には、全市民館で実施されるようになったが、一部の館では、ボランティアスタッフの人数に対して参加希望者が多く、人数制限せざるを得ない状況にある。現状では、参加者自身が一人で通える場合に限定している館が多いが、精神に障がいがある人、重度や在宅の障がい者への学習提供のあり方や当事者の参画など課題は多い。

## 5 障がい者ボランティア研修

障がい者の理解やボランティア活動のあり方などの研修を行い、障がい者が学習する権利の保障と充実、障がい者の学習に関わるボランティアの人権意識の向上を目指して実施している。「障害者ボランティアリーダー研修」として1997(平成9)年度から開設し、全市の障がい者社会参加学習活動のボランティアが対象となっている。

## Ⅱ 1 識字学習活動

### 教文 (水曜日夜間コース)

開設期間	4月10日(水)～3月12日(水) 19:00～20:30 合計40回		
ボランティア	日本語支援	36名(公募登録ボランティア)	保育 3名(公募登録ボランティア)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サマーパーティ(7/7) 参加者 98名</li> <li>・浴衣を着る会(7/10)</li> <li>・交流イベント(ファッションショー、ミニコンサート)(10/9) 参加者30名</li> <li>・ウインターパーティ(12/15) 参加者 69名</li> <li>・「にほんごひろばニュース」No.1～40発行(基本的に毎学習日)</li> </ul>		

### 幸 (水曜日昼間コース)

開設期間	4月17日(水)～3月12日(水) 10:00～12:00 合計37回		
ボランティア	日本語支援	20名	保育 8名(多摩保育グループ)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏のイベント(7/10) 盆踊り・チャリインゲーム等 参加者37名</li> <li>・冬のイベント(12/11) 幸消防署見学・起震車・煙体験 参加者37名</li> <li>・日本語学級・市民館担当者・にほんごワールドで日本語学習の課題を考える</li> <li>・漢字の練習 協力:にほんごワールド</li> </ul>		

### (木曜日夜間コース)

開設期間	4月11日(木)～3月13日(木) 19:00～20:30 合計35回		
ボランティア	日本語支援	13名	保育 なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏のイベント(茶道体験)(7/18) 参加者24名</li> <li>・冬のイベント(クラウン芸を楽しもう)(12/18) 参加者32名</li> </ul>		

### 中原 (火曜日昼間コース)

開設期間	4月16日(火)～3月11日(火) 10:00～12:00 合計32回		
ボランティア	日本語支援	26名(ことばの木)	保育 12名(どんぐりの会)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶話会(6/11) 参加者44名</li> <li>・料理教室(10/15・10/22) 参加者47名</li> <li>・お楽しみ会(12/10) 参加者71名</li> <li>・文集作成(3月)</li> </ul>		

### (火曜日夜間コース)

開設期間	4月9日(火)～3月11日(火) 18:30～20:30 合計36回		
ボランティア	日本語支援	16名(はらっぱ)	保育 なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏のイベント(7/9) 参加者26名</li> <li>・日帰りレクリエーション(10/27) 府中市郷土の森博物館・サントリー武蔵野ビール工場見学 参加者20名</li> <li>・料理教室(12/10) 参加者29名</li> <li>・文集作成(3月)</li> </ul>		

### 高津 (水曜日昼間コース)

開設期間	4月24日(水)～3月12日(水) 10:00～11:30 合計35回		
ボランティア	日本語支援	19名(あいうえおの会)	保育 27名
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕パーティー(7/3) 49名</li> <li>・忘年パーティー(12/11) 55名</li> <li>・料理会(3/5) 54名</li> </ul>		

### (木曜日夜間コース)

開設期間	4月18日(木)～3月13日(木) 19:00～20:30 合計35回		
ボランティア	日本語支援	19人(三本木の会)	保育 6人(高津保育グループ)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期末交流パーティー(7/11) 参加者51人</li> <li>・秋の課外イベント(11/2)「川崎大師へ行こう」川崎大師見学と大師公園散策 参加者18人</li> <li>・2学期末交流パーティー(12/12) 参加者50人</li> <li>・3学期末交流パーティー(3/13) 参加者34人</li> </ul>		

## 宮前 (金曜日昼間コース)

開設期間	4月12日(金)～3月14日(金) 10:00～12:00 合計35回			
ボランティア	日本語支援	17名(宮前日本語ボランティアの会)	保育	49名(館保育ボランティア)
事業事例	・ランチパーティー(6/7) 参加者25名 ・浴衣体験、七夕体験(7/5) 参加者24名 ・ミニ交流会(7/12) 参加者24名 ・インターネットを使った日本語学習(10/11) 講師:東京国際大学教授 川村よし子 参加者35名(宮前日本語ボランティアの会主催) ・伊勢原大山ハイキング(11/22) 参加者15名(宮前日本語ボランティアの会主催) ・交流会(12/6) 参加者 大人53名 子ども7名			

## (水曜日夜間コース)

開設期間	4月17日(水)～3月5日(水) 19:00～20:30 合計33回			
ボランティア	日本語支援	11名(日本語ボランティア「コスモスの会」)	保育	
事業事例	・各学習日の終了後ミーティング ・交流会(7/10, 12/11, 3/5)			

## 多摩 (水曜日昼間コース)

開設期間	4月10日(水)～3月19日(水) 10:00～12:00 合計36回			
ボランティア	日本語支援	26名(多摩にほんごの会)	保育	14名(多摩保育グループ)
事業事例	・盆踊り教室(7/10) 講師 多摩区文化協会 3名 参加者30名 ・忘年会(12/11) ※ 出演 多摩ハーモニカ15名 参加者35名 ・入管法について学ぼう!(2/26) 講師 山田 貴夫(法政大学 講師) 参加者38名			

## (金曜日夜間コース)

開設期間	4月19日(金)～3月7日(金) 19:00～20:30 合計36回			
ボランティア	日本語支援	19名(たま語)	保育	
事業事例	・異文化交流会(5/17) 参加者23名 ・盆踊り(7/19) 参加者25名 ・日本文化を学ぶ催し(10/18) 参加者18名 ・料理教室(11/15) 参加者26名 ・忘年会(12/20) 参加者26名			

## 麻生 (木曜日昼間コース)

開設期間	5月2日(木)～3月13日(木) 10:00～11:30 合計36回			
ボランティア	日本語支援	26名	保育	8名(ジャンケンポン)
事業事例	・話そう、わたしのお国しょうかい!(7/18) 参加者41名 ・クイズ、ゲームでお正月を体験(12/12) 参加者47名 ・国のお料理体験(3/13) 参加者56名			

## (木曜日夜間コース)

開設期間	5月2日(木)～3月13日(木) 18:30～20:00 合計36回			
ボランティア	日本語支援	7名	保育	
事業事例	・お料理会part1 麺作り体験(7/18) 参加者6名 ・クリスマス会(12/12) 参加者6名 ・お料理会part2(3/13) 参加者5名			

# 学習者国別リスト

行	No.	出身国・地域	教文	幸		中原		高津		宮前		多摩		麻生		合計
			夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	
ア行	1	アイルランド														0
	2	アメリカ	4	2		3	4	2	2	2	3	10	7	9	1	49
	3	アゼルバイジャン	1													1
	4	アルゼンチン										2	2	4		8
	5	イギリス			1	1						1	3	2		8
	6	イスラエル							1							1
	7	イタリア	1													1
	8	イラン	1							2						3
	9	インド	32	6	1		2					1	1	3		46
	10	インドネシア	4				2		3	2	7	1		3		22
	11	ウガンダ											1			1
	12	ウクライナ					1	1								2
	13	ウズベキスタン									1					1
	14	エクアドル	3									1		1		5
	15	エチオピア									1					1
	16	オーストラリア			2		1			1		1	3	1		9
カ行	17	ガーナ			2		1						1		4	
	18	カナダ							1						1	
	19	韓国	6	11	1	5	5	11	5	5	2	5		3	2	61
	20	カンボジア	1			1		1			2					5
	21	ギニア														0
	22	キューバ				1	1									2
	23	ケニア										1				1
	24	コートジボワール										2		1		3
	25	コロンビア								1		1				2
	26	コンゴ							2							2
サ行	27	ジャマイカ									1				1	
	28	シンガポール				1								1	2	
	29	スイス													0	
	30	スペイン		1					2	2	1					6
タ行	31	スリランカ	2	2		1	2				6	2	3	2	20	
	32	タイ	7	3	1	7	1	3		10	2	1		7	5	47
	33	台湾	10	1	2	12	6	7	4	5	3	2	1	4	1	58
	34	チュニジア						1	1							2
	35	中央アフリカ												1	1	2
	36	中国	68	31	11	35	22	36	22	22	5	20	21	24	13	330
	37	チリ					1						1		1	3
	38	デンマーク												1	1	2
	39	ドイツ					1			1		2		2		6
	40	トルコ														0
ナ行	41	ナイジェリア												1	1	
	42	日本	4											2		6
	43	ニュージーランド	1									3	1		1	6
	44	ネパール	5				9		1	1		3	2	1	2	24
ハ行	45	パキスタン	1			1	4		3						9	
	46	パラグアイ								1					1	
	47	バングラデシュ		2								1	1		4	
	48	フィリピン	43	8	1	6	1	8	8	7	12	12		3	2	111
	49	フィンランド														0
	50	ブラジル	6								1	3		3		13
	51	フランス		1	1		1									3
	52	ベトナム	17	1	2	6	37	3	7		2	1	7	4	2	89
	53	ベネズエラ		1		1										2
	54	ベラルーシ									1					1
マ行	55	ペルー	5	3	1	2	1		1	1	1				15	
	56	ベルギー												1		1
	57	ボリビア		3		1										4
	58	マレーシア	2			1		1		1		1		1		7
	59	ミャンマー (ビルマ)						1								1
	60	メキシコ		1		1							1			3
	61	モロッコ					1									1
	62	モンゴル										1		1		2
	63	ラオス								1						1
	64	ルーマニア	2		1											3
65	ロシア					1		2						1	4	
合計			226	77	27	90	102	82	65	67	37	80	55	87	35	1,030
参加延べ人数			1,693	847	319	859	724	985	1,071	596	215	646	320	687	199	9,161

## Ⅱ 1 <参考> ボランティア交流事業

### 地域日本語ネットワークのつどい

日 時	平成25年11月30日(土) 13:00~17:10
会 場	教育文化会館 第1~3学習室、美術工芸室
内 容	<p>識字・日本語学習活動に関わるボランティアと職員が一堂に会し、地域にも呼びかけて、川崎市の識字・日本語学習活動のあり方等について協議する。</p> <p>地域日本語教育推進事業の一環として実施され、地域日本語連絡会（識字学習活動担当職員と、活動に関わるボランティアの連絡協議組織）が中心となって企画・運営にあたった。</p> <p>テーマ：(第18回)「日本語学習支援とボランティア ～地域の外国人市民にどう向き合うか～」 学習の現場を担う主体として、地域の実情や、生活者としての外国人市民の状況・ニーズをいかに掴み、活動に反映させるか。これからの活動をどう進めていけばいいか等、他都市の事例やそれぞれの取り組みを振り返りながら考える。また、協力してワークショップを行うことにより、ボランティア同士の交流を図り、つながりを築く。</p> <p>(1)「日本語学習支援とボランティア」(ワークを交えた講義) (2)講義の振り返り</p> <p>講 師：(財)自治体国際化協会派遣 地域国際化推進アドバイザー (一社)グローバル人財サポート浜松 代表理事 堀 永乃</p>
参 加 者	61人(内訳：識字ボランティア37人、ボランティア入門研修受講者13人、職員9人、その他2人)

### 地域日本語連絡会

回	月日	曜	内容	会場
1	4・20	土	情報交換・報告事項(新年度の事業開始状況等) 平成25年度役割分担について 出席25人	中原市民館 第2会議室
2	5・25	土	情報交換・報告事項(新年度の事業開始状況等) 平成25年度役割分担について ネットワークのつどいについて 出席28人	高津市民館 第6会議室
3	6・15	土	情報交換・報告事項(クラス分けの方法について等) ネットワークのつどい実行委員会 出席25人	高津市民館 第5会議室
4	7・20	土	情報交換・報告事項(1学期の活動状況等) ネットワークのつどい実行委員会 出席23人	中原市民館 第2会議室
5	8・17	土	情報交換・報告事項(会HP運営、会の連絡体制、学習者への連絡方法等) ネットワークのつどい実行委員会 出席24人	高津市民館 第5会議室
6	9・21	土	情報交換・報告事項(多文化カフェ、小学校との交流、学習支援等) ネットワークのつどい実行委員会 出席27人	高津市民館 第5会議室
7	10・19	土	情報交換・報告事項(各グループでの実践事例、台風時の対応等) ネットワークのつどい実行委員会 出席21人	中原市民館 和室
8	11・16	土	情報交換・報告事項(ボランティア研修の状況、交流イベントの実施状況等) ネットワークのつどい実行委員会 出席21人	多摩市民館 第6会議室
9	12・21	土	情報交換・報告事項(年末の行事の状況、行事での参加費や資料代等の扱いについて等) ネットワークのつどい実行委員会 出席22人	中原市民館 第2会議室
10	1・18	土	情報交換・報告事項(ボランティアの会費等のお金の扱い方、会HP運営について等) 出席21人	中原市民館 第2会議室
11	2・15	土	(悪天候につき中止)	国際交流センター
12	3・15	土	情報交換・報告事項(年度末の状況、ボランティアの定数、会HP運営について等) 出席23人	高津市民館 第5会議室

### 保育ボランティア連絡会

回	月日	曜	内容	会場
1	6・14	金	ボディパーカッション体験 出席23人	高津市民館 視聴覚室
2	3・7	金	情報交換・グループ交流 出席21人	中原市民館 第3会議室

## Ⅱ 2 識字ボランティア研修

### 教文 識字ボランティア研修Ⅰ（ブラッシュアップ）

タイトル：さまざまな視点で学習を考えよう

主 題：さまざまな視点から学習を見直すことで今後の活動につなげる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・19	土	学習者の視点から考える	学習者の視点でどうすればより満足度の高い学習を進められるか学ぶ	(公社)日本語教育学会 人材育成コーディネーター 吉田 聖子
2	11・2	土	学習者の気持ちを考える	学習者が何を求め伝えようとしているのかのコミュニケーション法について学ぶ	(公社)国際日本語普及協会 日本語教師 松尾 恭子
3	16	土	ボランティアの視点で学習を考える	識字に携わるボランティアとして意識すべきこと	国際アカデミー日本語学院 学院長 渥美 明

●開設場所 教育文化会館 ●時間帯 14:00～16:00

●対 象 識字学習活動に携わるボランティア

●参加者数 16人（男8人、女8人） ●延べ人数 26人

### 教文 識字ボランティア研修Ⅱ（ブラッシュアップ）

主 題：識字学習活動を客観的に考え、今後の識字学習活動につなげる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・15	土	他館の現状を知る	他館の様子をポスターにまとめ、様子を知る また、他館の工夫点などを学ぶ	他館のボランティア (公社)日本語教育学会 人材育成コーディネーター 吉田 聖子
2	3・1	土	識字学習活動の課題を考える	1回目の振り返りを行い、作成したツールの使用法について考える	吉田 聖子

●開設場所 教育文化会館 ●時間帯 14:00～16:00

●対 象 識字学習活動に携わるボランティア

●参加者数 6人（男2人、女4人） ●延べ人数 8人

### 幸 識字ボランティア研修（午前ブラッシュアップ）

タイトル：外国人市民とのコミュニケーションづくりを学ぼう

主 題：識字ボランティアの資質向上をめざす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・13	水	学習者とのコミュニケーションの持ち方をトレーニングする	助詞の機能について学び、日本語を自分の問題として捉えるアプローチの仕方を学ぶ	日本語教師 袴田 陽子
2	20	水			
3	27	水			
4	12・4	水			
5	1・15	水		講座の振り返り	袴田 陽子 幸市民館日本語ボランティア

●開設場所 幸市民館 ●時間帯 13:00～15:00

●対 象 関心のある方 ●参加者数 24人（男9人、女15人） ●延べ人数 92人

## 幸 識字ボランティア研修「夜間ブラッシュアップ」

主 題：魅力ある学習活動の在り方について

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	8・1	木	学習者にとって魅力ある学習とは何かについて学び、日々の活動にどのように取り入れていくか、考える	日本語学習法の一つ、「サイレントウェイ」について学ぶ	早稲田大学大学院 教授 川口 義一
2	9・19	木		学習者のやる気をひきだす学習方法について事例を学ぶ	アクラス日本語教育研究所 代表理事 嶋田 和子
3	11・21	木		学習者のやる気をひきだす学習方法について考える	
4	2・20	木		共同学習とは何か、ボランティアと何かについて考える	
5	3・13	木		学んだことをもとに、学習者の現状を踏まえながら学習の在り方について話し合う	ボランティア 職員

●開設場所 幸市民館

●時間帯 18:30～20:30

●対象 識字・日本語ボランティア及び関心のある方

●参加者数 13人（男3人、女10人） ●延べ人数 42人

## 中原 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅠ）

主 題：ボランティアの資質向上を図り、学級の課題解決に繋げる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・5	火	外国人市民を取り巻く日本の法律制度・申請手続き等を学ぶ	在留資格、仕事、結婚、相続等、具体的な事例を知る	弁護士 笠間 透 行政書士 笠間 由美子
2	26	火	識字学習を支援するボランティアとして、学習者の実生活に活かせる日本語の知識と提供の手法を学ぶ	話してもらった授業をめざして～グループ指導でのアクティビティを中心に～	東京外国語大学 准教授 荒川 洋平
3	1・21	火			

●開設場所 中原市民館

●時間帯 主に 13:30～15:30

●対象 識字ボランティア及び関心のある方

●参加者数 26人（男4人、女22人） ●延べ人数 70人

## 中原 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅡ）

主 題：社会情勢を踏まえ、外国人市民との共生社会を推進する方法を学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・18	土	ニューカマーの外国人市民の支援	日本に住むベトナム人の事情	在日ベトナム学生青年協会 (VYSA) 顧問 小川 弘行
2	2・11	火	外国人市民の生活支援を考える	外国につながる子どもとともに～つたえあう日本語学習～	帝京大学教授 土屋 千尋

●開設場所 中原市民館

●時間帯 主に 10:00～12:00

●対象 識字ボランティアおよび関心のある方

●参加者数 29人（男6人、女23人） ●延べ人数 35人



## 中原・高津・宮前 識字ボランティア中部地区合同研修

主 題：外国人にとって住みよい社会のために出来ることを考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・11	火	外国人市民の生活支援を考える	外国につながる子どもとともに～つたえあう日本語学習～	帝京大学教授 土屋 千尋

●開設場所 中原市民館 ●時間帯 10:00～12:00

●対 象 識字ボランティアおよび関心のある方

●参加者数 19人（男3人、女16人） ●延べ人数 19人

## 高津 識字ボランティア研修Ⅰ

主 題：日本語ボランティアとしてのスキルアップを図る

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・16	水	識字ボランティアとして活動する中での疑問や不安を解決し、自信を持って学習支援を行うことができるような学習の機会とする	『やりもらい』の用法と教え方	早稲田大学日本語教育研究センター 講師 塩崎 紀子
2	23	水		「たら」と「と」接続と文末の練習Ⅱ	T I J 東京日本語研修所 日本語教師 袴田 陽子
3	11・6	水		「えば」接続と文末の練習Ⅱ	袴田 陽子
4	2・19	水		初級から中級に向けての日本語教育①	塩崎 紀子
5	26	水		初級から中級に向けての日本語教育②	

●開設場所 高津市民館 ●時間帯 14:00～16:00

●対 象 活動中のボランティア30人 ●参加者数 22人（男4人、女18人） ●延べ人数 91人

## 高津 識字ボランティア研修Ⅱ

主 題：日本語ボランティアとしてのスキルアップをはかる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・6	日	日本語教室（夜）の現状と課題	各グループの課題を共有し、解決に向けた話し合いを行なう	三本木の会 日本語ボランティア
2	26	土	学習者の理解しにくい部分を分かりやすく説明する方法を学ぶ	学習者の会話力アップ、学習者へのマナーや配慮すべきこと	L T C 友の会（杉並区のボランティア日本語の会） 副代表 山形 美保子
3	12・1	日		助詞の効果的な教え方について具体例を通して学ぶ	

●開設場所 高津市民館 ●時間帯 13:30～16:30

●対 象 関心のある方 ●参加者数 21人（男7人、女14人） ●延べ人数 47人

## 宮前 識字ボランティア研修（入門）

主 題：日本語学習支援を担う人材を育成する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・29	金	地域に住む外国人を取り巻く状況を知る	川崎市の識字ボランティアとしてどのような支援が必要なのかを考える	(公財)川崎市国際交流協会 多文化共生課長 吉田 和江 タガログ語相談員 小倉 ノエミ
2	12・6	金	グループで学習を進める方法を知る	「ボランティア」としてどのような活動ができるのか、グループ活動の視点で考える	人材育成コーディネーター 吉田 聖子
3	13	金	日本語学校と識字学級の違いを学ぶ	共同学習者としての市民館の識字ボランティアのあり方を考える	
4	20	金	識字学級の理念とボランティアの活動を知る	識字学級の理念や歴史について及び実際の宮前日本語学級の活動の基本情報を知る	宮前市民館菅生分館 分館長 木村 利恵 宮前日本語ボランティアの会
5	1・10	金	活動の楽しさ、難しさを知る	宮前日本語学級の実際の活動を見学する	宮前日本語ボランティアの会
6	17	金			
7	24	金	日本語学習支援の進め方を学ぶ	外国人市民等が生活に必要な日本語について具体的に考える	神奈川大学 准教授 富谷 玲子
8	31	金	ボランティアの心構えを知る	研修を振り返り地域におけるボランティア活動としての日本語学習支援について考える	宮前日本語ボランティアの会

●開設場所 宮前区役所 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 31人（男7人、女24人）

●延べ人数 182人

## 宮前 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅠ）

主 題：ボランティアの素質向上、日本語学習支援の更なる充実を目指す

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・4	金	多文化理解についての考えを深める	文化の異なる国の人々とコミュニケーションをとる際の留意点について学ぶ	東京国際大学 教授 川村 よし子
2	18	金		漢字教育とインターネットを活用した読解教育について学ぶ	

●開設場所 宮前市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 27人（男7人、女20人）

●延べ人数 45人

## 宮前 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅡ）

主 題：識字ボランティアのスキルアップ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・12	水	各レベルに適切な会話練習の進め方を学ぶ	初中級レベルの会話練習の進め方	LTC友の会 副代表 山形 美保子
2	19	水		中上級レベルの会話練習の進め方	

●開設場所 宮前市民館

●時間帯 18:00～20:00

●対象 日本語ボランティア活動中の方、関心のある方

●参加者数 16人（男5人、女11人）

●延べ人数 28人

## 多摩 識字（日本語）ボランティア入門研修

タイトル：学び合うにほんご

主 題：日本語学習支援を担う人材を育成する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・3	水	川崎市に住む外国人を取り巻く状況	川崎市で暮らす外国人市民のが抱える問題を知り、どんな支援が必要なのかを考える	(公財)川崎市国際交流センター 課長 吉田 和江 外国人相談員 小倉 ノエミ
2	10	水	コミュニケーションや識字の理念	ボランティアとして必要なコミュニケーション能力を身につける/識字の理念とは	異文化コンサルタント 山本 薫 職員
3	17	水	日本語ボランティア活動を知る	見て、聞いて、感じよう日本語学習支援の場(識字学級や多摩区庁舎内見学)	多摩にほんごの会 多摩市民館識字学習者 職員
4	31	水		どうだった？日本語学習支援の場	人材育成プロジェクトコーディネーター 吉田 聖子
5	8・7	水	日本語学習支援の進め方	地域で暮らす外国人と日本人のための教材(題材)とは？	神奈川県立国際言語文化アカデミア 講師 小島 佳子
6	21	水		わかりやすい日本語とは？教材(題材)づくりを行う	
7	28	水		作成した教材(題材)の発表と共有	
8	9・4	水	学習者の日常に役立つ支援を考える	教える-学ぶを超えたともに学ぶ活動方法について考える	横浜国立大学 講師 嶽肩 志江 職員
9	28	水	ボランティア体験報告会	活動に参加した経験を仲間に話し、知識と意見を整理する	多摩市民館識字ボランティア
10	10・2	水	多摩の識字の日本語ボランティアとは	これまでの研修を振り返り地域における日本語学習支援について考える	吉田 聖子

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 主に 14:00～16:00

●対象 多摩市民館で日本語ボランティア活動を希望される方、多文化共生に関心のある方

●参加者数 27人(男9人、女18人) ●延べ人数 200人

## 多摩・麻生 多摩・麻生合同識字ボランティア・ブラッシュアップ入門研修

主 題：ボランティアのスキルアップと他区との交流

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・24	木	多様な学習者に対応できるように、それぞれの語学レベルの特徴を知り、会話を引き出す方法を知る	中級者との会話を引き出すコミュニケーションとつまづきやすいポイント	アクラス日本語教育研究所 代表理事 嶋田 和子
2	31	木		入門・初級者との会話を引き出すコミュニケーションとつまづきやすいポイント	にほんごの会会員 世田谷区外国人のための日本語教室担当講師 森 桂子
3	11・27	水		テキストを地域向けにアレンジする	目白大学 非常勤講師 木戸 恵子
4	28	木		上級者との会話を引き出すコミュニケーションとつまづきやすいポイント	LTC友の会(杉並区のボランティア日本語の会) 副代表 山形 美保子
5	11・6	水	様々な状況で生活している外国人の現状を理解し、学習者が充実感を得られるための学習活動を考える	自分の身の回り「日本語」を使って、オリジナル教材を作ってみる	神奈川県国際言語アカデミア 教授 坂内 泰子
6	13	水		若年層の外国人や留学生の現状を知る	専修大学 教授 高橋 雄一 専修大学 留学生 孟 慧
7	20	水		日常生活で使われる日本語の特徴を学ぶ	桜美林大学 准教授 安藤 節子
8	10・1 11・30	水 金	川崎市の識字活動が目指す、地域に根差した日本語支援活動を、歴史・他区との交流から考える	多摩市民館、麻生市民館のそれぞれの識字教室を見学する	職員
9	12・7	土		川崎市の識字学習活動を振り返り、地域で日本語支援を行うことの意義を確認する	法政大学 教授 山田 泉
10	7	土		多摩・麻生のボランティアの情報共有と交換会	人材育成プロジェクト・コーディネーター 吉田 聖子

- 開設場所 ①②④⑤⑥⑧麻生市民館 ③⑦⑧⑨⑩多摩市民館
- 時間帯 ①②③④14:00～16:00、⑤⑥⑦18:45～20:45、⑨10:00～12:00、⑩13:00～16:00
- 対象 多摩市民館、麻生市民館で識字ボランティアをしている人
- 参加者数 38人(男12人、女26人) ●延べ人数 209人

## 麻生 識字ボランティア入門研修

主 題：あさおにほんごクラスでのボランティアに必要なことを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・30	木	地域で生活する外国人市民の生活を「日本語」を通して支援し、外国人市民と日本人市民が共に生きるという川崎の識字理念を身に付け、それを実践できるボランティアを育てる	川崎市に住む外国人市民を取り巻く状況を知る	(公財)川崎市国際交流協会 多文化共生課 課長 吉田 和江 外国人相談員 中村 星淑
2	6・6	木		コミュニケーションの基本を考える、自己紹介、川崎の識字理念を知る	職員
3	13	木		あさお日本語クラスの見学	
4	20	木		グループで学習を進める方法を考えながら学習する	人材育成プロジェクト・コーディネーター 吉田 聖子
5	27	木		実際の活動へ必要な準備を考える、ボランティアの心構えを考える	

- 開設場所 麻生市民館 ●時間帯 14:00～16:00
- 対象 関心のある人 ●参加者数 11人(男2人、女9人) ●延べ人数 51人

## Ⅱ 3 社会人学級

### 1. 趣 旨

中学校は卒業しているが、いろいろな事情で十分に学習できなかった人が、中学校初級程度の学力を身につけるとともに、学習の楽しさを知り、自分で学んでいける力を培うことをねらいとする。

### 2. 対 象

市内在住または在勤の15歳以上の方

### 3. 開催期間・時間

5月10日（金）～3月5日（水）18:30～20:30

### 4. 会 場 教育文化会館

### 5. 指導方針

原則として、国語・数学を中心に、週2回の学習で、いずれも中学校程度の学習を行なうが、学習者の学力・要望に応じて弾力ある学習展開を行なう。

### 6. 科目・内容・回数・講師

科目	主な学習内容	回数	講師・助言者など
国語	日本語の歴史、詩、短歌、随想、物語、エッセイ、読書、輪読、作文、漢字、文集作成	30	元教師 藤原 治子
数学	数のいろいろ、虫食い算、正の数・負の数、分数、文字式、係数、方程式、関数、黄金分割、図形	29	元教師 清水 謙二
特別講座	音楽 振り込め防止ソングから防犯を考える 歌の歴史、発声練習、音楽鑑賞	1	音楽家 鷺頭 真澄 鷺頭 多加志
	芸術 折紙を使った手工芸	1	元教師 笠 ヒサ子
	課外活動 ホームルーム：学級の運営方法などを話し合い、交流を深める	1	元教師 藤原 治子 清水 謙二

### 7. 受講者数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0	1	0	1	0	3	4	2	11
女	0	0	1	1	0	14	5	2	23
計	0	1	1	2	0	17	9	4	34

### 8. 延べ人数 970人

## Ⅱ 4 障がい者社会参加学習活動

### 教文 障がい者社会参加学習活動（教文青年教室）

主 題：共に生きる地域社会をつくるために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・12	日	グループワークとコミュニケーション1	自己紹介、班決め、名札作り	ボランティアスタッフ
2	6・9	日	社会と文化にふれる1	川崎大師史跡めぐり	NPO法人かわさき歴史ガイド協会
3	7・21	日	社会と文化にふれる2	航空科学博物館見学	ボランティアスタッフ
4	9・8	日	社会と文化にふれる3	梨狩り	
5	10・20	日	スポーツと仲間づくり1	スポーツ交流会	
6	11・10	日	グループワークとコミュニケーション2	食材の買い物と調理実習	
7	12・15	日	グループワークとコミュニケーション3	クリスマス会	
8	1・12	日	社会と文化にふれる4 自己表現	東海道かわさき宿交流館見学と新年会	
9	2・2	日	スポーツと仲間づくり2	ボウリング大会とつくろうよコンサート鑑賞	
10	3・9	日	グループワークとコミュニケーション4	修了式	

●開設場所 教育文化会館 他 ●時 間 帯 主に 10:00～14:00

●対 象 養護学校、特別支援学級の卒業生

●参加者数 32人（男23人、女9人） ●延べ人数 260人

### 幸 サンデーフレンドパーク

主 題：地域の仲間と共に学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・19	日	障がいのある人たちがさまざまな活動を通して、社会参加に必要な基礎的な知識・技術の向上を図り、ボランティアなど地域の人たちと共に学ぶ機会を設け、地域社会における仲間づくりを図る	新年度顔合わせ、自己紹介	ボランティアスタッフ 職員
2	6・16	日		運動①（自彊術体験）	自彊術みゆきメンバー
3	7・21	日		料理づくり（餃子、炒飯、ゼリー）	ボランティアスタッフ 職員
4	10・13	日		運動②（とどろきアリーナ） 中原市民館及び宮前市民館との合同プログラム	
5	11・10	日		遠足（葛西臨海水族館）	
6	12・1	日		クリスマス会準備	
7	15	日		クリスマス会（料理、ゲーム、飾りつけ） ※中原市民館との合同プログラム	ハッピークラウンメンバー
8	1・19	日		クラウン体験	
9	2・23	日		バスハイク（南房リゾート、いちご狩り）	ボランティアスタッフ 職員
10	3・16	日		終了式	

●開設場所 幸市民館 ●時 間 帯 主に 13:30～15:30

●対 象 主に知的障がいのある方 ●参加者数 8人（男5人、女3人）

●延べ人数 46人

## 中原 ヤングジャンプセミナー

主 題：学びを通じて仲間との交流を深める

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	4・21	日	事業趣旨の理解と仲間作り	オリエンテーション・自己紹介 室内レクリエーション	ボランティアスタッフ
2	5・19	日	集団行動を通じての学び	遠足①カップヌードルミュージアム見学	
3	6・16	日	集団行動を通じての学び	バスハイク① 箱根ガラスの森美術館	
4	7・21	日	ものづくりへの関心を深める	午前：料理（カレーライス） 午後：合宿の話し合い	
5	9・14 15	土 日	集団生活を通じての学び	合宿（青少年の家） レクリエーション 他	
6	10・13	日	運動を通じての健康づくり	スポーツを楽しむ（とどろきアリーナ） ※幸・宮前市民館との合同プログラム	ボランティアスタッフ 職員 とどろきアリーナ職員 日本フロアホッケー連盟 副理事長 加藤宗一 三喜工業(株)（リングビー）
7	20	日	集団行動を通じての学び	遠足② かわさき宙と緑の科学館	ボランティアスタッフ
8	11・17	日	ものづくりへの関心を深める	午前：工作（クリスマスの飾り） 午後：クリスマス会の話し合い	
9	12・15	日	共同作業を通じての学び	クリスマス会（料理、ゲーム、飾りつけ） ※幸市民館との合同プログラム	
10	1・19	日	集団行動を通じての学び	バスハイク② 雪印メグミルク工場見学	幸蕎麦塾の皆さん
11	2・16	日	ものづくりへの関心を深める	午前：そば打ち 午後：話し合い	
12	3・16	日	振り返りと来年度への展望	まとめ・振り返り	ボランティアスタッフ

●開設場所 中原市民館

●時間帯 主に 9:30～14:00

●対象 障がいのある方

●参加者数 29人（男17人、女12人）

●延べ人数 239人

## 高津 ふれんど高津

主 題：地域のみんなどともに学ぼう！

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・26	日	参加者同士が知り合う	顔合わせ、グループ決め、リーダー選挙	ボランティアスタッフ
2	6・23	日	料理を通して親睦を深める	料理体験（カレー、豚汁、野菜炒め）	
3	7・28	日	課外での集団行動を通じた学び	高津区民祭見学	
4	9・22	日	避難訓練を通じた学び	防災訓練（高津消防署）	高津消防署職員 ボランティアスタッフ
5	10・27	日	身体を動かす学び	運動会（市立養護学校）	ボランティアスタッフ
6	11・24	日	課外での集団行動を通じた学び	バスハイク（はまぎんこども宇宙科学館）	
7	12・22	日	共同作業を通じた学び	クリスマス会（朗読・クラウン鑑賞、クリスマスソング合唱、ビンゴ大会）	ハッピークラウン 原 美恵子 ボランティアスタッフ
8	1・26	日	地域との関わり	もちつき	青少年の家職員 ボランティアスタッフ
9	2・23	日	ものづくりへの関心を深める	パステルアート体験	アイコンシャス 吉川 ちひろ ボランティアスタッフ
10	3・23	日	1年間の振り返り	おと絵鑑賞と修了式	おと絵がたり ボランティアスタッフ

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 主に 10:00～14:00

●対象 主に区内在住の知的障がいのある方

●参加者数 29人（男19人、女10人）

●延べ人数 253人

## 宮前 みやまえウィンズ

主 題：ノーマライゼーションの理念に生きる地域社会の実現を目指す

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・12	日	いろいろな体験を通じて余暇活動の充実を図るとともに、みやまえウィンズを通じて、仲間やサポーターとのつながりあいを強める	ミーティング(自己紹介、リーダー・グループ決め、今年度の活動について)	ボランティアスタッフ
2	6・9	日		お弁当作ってハイキング	
3	7・14	日		バスハイク (千葉ポートタワー)	
4	9・8	日		缶バッジづくり、話し合い	
5	10・13	日		スポーツ大会 (幸サンデーフレンドパーク、中原ヤングジャンプと交流)	ボランティアスタッフ 職員 とどろきアリーナ職員 NPO法人日本フロアホッケー連盟 副理事長 加藤宗一 三喜工業(株)(リングビー)
6	11・10	日		宮前区民祭へ行こう!	ボランティアスタッフ
7	12・8	日		クリスマス会	
8	1・12	日		バスハイク (三島大社、いちご狩り)	
9	2・9	日		工作 (スライム・ボンボン)、みそ造り (雪のため中止)	栄養士 曾我 まゆみ
10	3・9	日		・スクラップブック作り ・修了式	・スクラップブック協会認定講師 小坂 真砂子 ・音楽療法士補 井手 絵里子 ・おやじバンド ・ボランティアスタッフ
課外	8・25	日	夏休み子どもあそびランドへボランティアとして参加	ボランティアスタッフ	

●開設場所 宮前市民館 他

●時間帯 10:00~15:00

●対象 区内在住の障がいのある方 ●参加者数 26人 (男17人、女9人)

●延べ人数 124人

## 多摩 青年教室

主 題：地域の人々との活動を楽しみながら学ぼう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・25	土	メンバーやボランティアとともに多様な経験をしながら、余暇を充実させ仲間作りを図る 地域の人々と交流し様々なことを学ぶことで社会参加を実現する	オリエンテーション	ボランティアスタッフ
2	6・22	土		料理体験① (中国の料理を作ろう!) ゴロゴロ体操をやってみよう	市民館利用団体メンバー ボランティアスタッフ
3	7・20	土		料理体験② (日本の料理を作ろう!) カラダで表現する物語の世界に挑戦!	
4	9・21	土		バスハイク① (アサヒビール神奈川工場)	ボランティアスタッフ
5	10・12	土		バスハイク② (三菱みなとみらい技術館)	
6	11・16	土		冬のお楽しみ会の計画をしよう	
7	12・14	土		冬のお楽しみ会	
8	1・18	土		アート体験①指で描くフィンガーアート	専門指導者 ボランティアスタッフ
9	2・8	土		アート体験②みんなでタペストリーを作ろう (雪のため中止)	
10	3・8	土		今年の振り返りとミニコンサート	市民活動グループ ボランティアスタッフ

●開設場所 多摩市民館 他

●時間帯 主に 10:00~15:00

●対象 区内在住、在勤の障がいのある方

●参加者数 35人 (男19人、女16人) ●延べ人数 299人



## 多摩 ボッチャをやるっちゃ

主 題：後天的障がいを持った方がボッチャ競技を通じて地域の人と関わる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・6	日	病気や事故で身体障がいを持った方々が、スポーツによって人や地域とつながる機会を作る	ボールを「触る」「握る」「投げる」「ひろう」「転がす」などの基本動作から身体を動かすことを学ぶ。いっしょにボッチャをする楽しさを感じあう	ボッチャ競技者 秋元 妙美
2	20	日		実際のルールにのっとったゲームを団体または個人で行い戦術を学ぶ	
3	11・3	日			
4	17	日			
5	24	日			

●開設場所 大会議室

●時間帯 13:00～15:30

●対 象 身体障がいのある方・健常者 ●参加者数 16人（男8人、女8人）

●延べ人数 60人

## 麻生 麻生青年教室

主 題：地域の仲間と共に余暇活動を楽しもう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・19	日	仲間とボランティアとの新しい発見・体験・出会いが得られる場となることを目指す 地域での体験活動や交流等の学習機会を提供することを通して、障がいのある人の社会参加促進を図る	開講式	NPO法人CMDゆうゆう代表 惠濃 志保 杉本 貴代 ボランティアスタッフ
2	6・23	日		料理 or ボーリング	ボランティアスタッフ
3	7・21	日		紙相撲大会	
4	9・15	日		梨狩り【台風のため中止】	
5	10・20	日		料理（汁物作り）	
6	11・24	日		遠足（多摩動物公園）	
7	12・16	日		クリスマス会	
8	1・18	土		もちつき準備	
9	19	日		もちつき	実技指導者 山崎 優 蛭町 優 松本 弘 ボランティアスタッフ
10	2・16	日		いちご狩り（バスハイク）【大雪のため中止】	
11	3・16	日		閉講式	麻生スポーツセンター 講師 智田 伸也 ボランティアスタッフ

●開設場所 麻生市民館 他

●時間帯 主に 9:30～15:30

●対 象 主に知的障がいのある方 ●参加者数 32人（男25人、女7人）

●延べ人数 234人

## Ⅱ 5 障がい者ボランティア研修

### 生涯学習推進課 障がい者社会参加学習活動ボランティア研修

主 題：青年教室 活動報告会 2013

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・8	土	1年間の活動を紹介しあうとともに他の自治体の先進的な取り組みを学ぶ	* 国立市公民館の「青年教室」「喫茶事業」を知る * 教文・市民館の25年度の活動の報告と交流 * まとめ	国立市公民館 社会教育主事 井口啓太郎 他

●開設場所 中原市民館 ●時間帯 10:00～12:00

●対 象 障がい者社会参加学習活動のボランティア及び職員

●参加者数 17人（男7人、女10人） ●延べ人数 17人